

7月の月間目標

たくさんほんをよもう！



**毎日10分間、無理のない時間帯に、
親も子ども読書に集中できる時間を作りましょう。**

子どもは、絵本や物語を読んだり、読んでもらったりすることが大好きです。読み聞かせや読書を通じて、想像上の世界に思いを巡らせ、主人公と一体になって喜んだり悲しんだりします。こうして登場人物の様々な気持ちに触れることで、他人の気持ちや痛みを知り、他者を思いやる心や命を尊ぶ心が育まれます。また、本を読むことによって「想像力」が養われるとともに客観的に物事を捉える力が育ち、読解力はもちろん、算数の文章問題などの理解にもつながります。

小さな子どもには、膝に座らせたり、添い寝をしたりして、読み聞かせをしてあげましょう。時にはストーリーの展開にあわせて、一緒に手をたたいたり、子どもを抱きしめるなどのスキンシップをとることで、親の愛情や温もりが伝わり、子どもの情緒が安定します。読み聞かせのひとつときが安らぎの時間となることで、ますます本が好きになります。「主人公が〇〇した場面はドキドキしたね」「きつねさんは無事にもどれてよかったね」など、本を仲立ちとして、親子が感想を言ったり感動を分かち合ったりすることによって、親子の絆も深まります。子どもの感想をやさしく、しっかりと聴いてあげると、その子どもは、人の話もしっかり聴くようになります。

夕食後にテレビを消して10分間、就寝前の10分間など、無理のない時間帯に、親も子ども読書に集中する時間を見つけ、家族ぐるみで、生活の中に読書を位置づけましょう。

子どもを読書へいざなうために



子どもと一緒に 本を読む時間を作りましょう

毎日10分、無理のない時間帯に「親子読書」の時間をつくり、おうちの方も一緒に本を読みましょう。

子どもの誕生日に 本を贈りませんか？

親が子どもにすすめる本、子どもが欲しい本などを選び、誕生日にプレゼントするのはいかがでしょうか。

身近に本のある環境を 作りましょう

家族みんなが集まる場所、子どもが手に取りやすい場所に、いつも本を置いておきましょう。

図書館に子どもを連れて 行きましょう

休日には子どもと地域の図書館に出かけ、一緒に調べものをしたり、読書に親しんだりしましょう。

本を読むお気に入りの場所を 作りましょう

家の中に、子どもが落ち着いて本を読める空間をつくりましょう。



子どもと親の育ちを応援します！

奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課 家庭・社会教育係

8月の目標は「はやね はやおきをしよう！」です。ご意見・ご感想などを是非お聞かせください。